

事業番号	386
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	文化団体育成助成事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	文化振興課							
	事業期間	平成14年度			～	平成30年度以降		担当係	文化振興係							
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		20 文化・芸術		1 総合的な文化芸術活動を推進する									
		副目的														
	予算区分	款	10		項	5		目	5		大	5		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	44 %			委託	24 %			助成	32 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 市内文化団体を育成し組織の活性化を図るとともに、多くの市民が文化活動に目を向け、参加できる環境づくりをする。 小中学生に対して、学校だけではできない分野の指導を受けられるようにし、文化活動の育成を図る。 														
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化協会運営に対する補助金(1,000千円) <p>総合文化祭</p> <p>展示の部(美術・文芸)5月24日～30日、展示の部(生花・茶)5月28日～29日</p> <p>芸能の部 5月29日</p> <p>職員は、文化協会役員会(毎月1回程度)、小牧の文化編集委員会(年6回)開催のため庶務事務及び調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文芸協会に文芸誌「駒来」発刊への補助金(380千円)毎月発行 ジュニア育成文化活動事業委託 <p>伝統文化の指導者として文化協会員を学校に派遣した。ジュニアクラブ化推進委員会の中で組織された美術と演劇について、成果を披露できる機会を提供した。</p> <p>ジュニア育成文化活動事業委託(551千円) 講師派遣195人(内夏休み文化体験教室12人)</p> <p>ジュニア美術クラブ育成事業委託(178千円) 17回実施</p> <p>ジュニア演劇クラブ育成事業委託(290千円) 29回実施</p> <p>職員は、学校からの派遣依頼に基づき文化協会と調整し学校に連絡を行う。</p> <p>○24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 23年度と同様に実施する。 														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	1,672	1,380	2,683	3,360	
		正職員	従事者数	人	0.16	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	851	531	531	531
		その他職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	1,173	656	1,121	1,121
		費用合計	千円	3,696	2,567	4,335	5,012	
	対前年比	%			69.4	168.8	115.6	
財源	一般財源	千円	3,696	2,567	4,335	5,012		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	小牧の文化発行	回	目標		2	2	2
実績				2	2	2	
文芸誌「駒来」発行	回	目標		12	12	12	12
		実績		12	12	12	
総合文化祭の開催	回	目標		1	1	1	1
		実績		1	1	1	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	文化協会会員数	人	目標		—	1,550	1,600
実績				1,546	1,516	1,512	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	9部門14部会の組織が文化活動しており、加盟団体の発表の場である総合文化祭と文化に関する事業の企画を行い、会員相互のコミュニケーションとレベルアップにつながった。また、次世代を担う子どもたちに対して、ジュニア育成文化活動や夏休みこども文化体験教室を通して、文化に触れる機会をつくり文化の重要性を伝えた。
		事業実施における課題等	文化協会・文芸協会の会員が固定化及び高齢化している。さらなる発展につなげるためには新しい会員の確保と活動範囲の拡大が必要と考える。
		事業を縮小・廃止したときの影響	文化振興課に配属した文化振興指導員による運営・育成指導ができなくなり、市内文化団体の活動が停滞し、小牧市の文化振興の推進に支障をきたす。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	文化協会・文芸協会ともに自立した発展を望むが、市の支援なしでは運営が難しい。文化振興指導の方法を検討し、団体のさらなる向上をめざす。	
	改善案等	団体の発表の場である総合文化祭をさらに活性化させて魅力あるものへと内容を充実させ、次世代を担う子どもたちへ伝統文化が身近に感じられるよう伝え方の工夫をする。また、文芸協会については、活動が学校に活かされる形になったので、学校等ともつながりが持てるように指導していく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。